

No. 1135

違反建築パトロール

10月11日（土）から17日（金）まで違反建築防止週間が実施されている。建設省住宅局指導課を中心に全国で共同住宅、分譲住宅等の建築工事現場の点検に重点を置き、特に10月15日には一斉に建築パトロールが行われた。首都東京と隣接する神奈川県横浜市。人口集中と共に市の郊外は土地の細分化が進み、住宅建築が急増、それに比例して違反建築の報告も年々増え続けている。市は違反建築防止週間の実施にあたり、各地区に総勢、12名の指導員を担当させ、パトロールを連日続けている。指導員の毎日は忙しい。パトロールの報告から会議は始まり今日の活動が検討される。2、3人で班が編成され、会議で検討された資料を手にそれぞれの担当地区のパトロールへと出発する。各工事現場での点検は念入りに行われる。建築許可の表示がない時は審査を受けるよう注意し、建築基準法に違反している時はすぐにその箇所を是正する様指導する。特に悪質なものは工事停止の処置をする。又、庁舎では建築相談コーナーを設けて違反のないよう積極的に活動を行っている。違法建築と今回の防止週間について指導員は、「現在横浜市では——」。「パトロールには12名があたり——」。と話している。こうした指導員の絶えまない活動により、より良い市街地の環境の整備、住宅の安全性の確保がなされているのである。

両陛下ご訪米の旅

— 第二報 —

ワシントンからニューヨークに到着された天皇皇后両陛下は10月5日、マンハッタンのセントラルパークに出かけられのどかな日曜日のひとつを過されました。公園には、サイモンパルク中学校のコーラスグループ64人が出迎え。元気な歌声の歓迎に両陛下は、じっと耳をかたむけ、ニューヨークの休日を楽しまれました。翌6日、両陛下は国連本部を訪れ、ワルトハイム事務総長の案内でご見学になりました。38階の事務総長室では、マンハッタンの摩天楼を間近にご覧になりました。

7日両陛下はニューヨークからシカゴへ。午後、天皇はシカゴ郊外100キロイリノイ州ウイル郡のバルツ農場をご視察。この農場は千ヘクタールもある広大なもので今、大豆のとり入れの真最中。陛下はコンバインにも乗られ、パッツ農務長官やバルツ農場のドナルド氏の説明に熱心に耳をかたむけられていました。

8日、ロサンゼルスに到着された両陛下は、おとぎの国デイズニランドをご訪問。アメリカ建国200年のにぎやかなパレードをご覧になりました。ディズニー映画でおなじみのミッキーマウスや子どもたちのアイドルぬいぐるみ人形のパレードにしばし童心に返られた両陛下。

9日、サンフランシスコへの途中天皇は、ラホヤにあるスクリップス海洋研究所に立ち寄られました。陛下はニーレンバーグ所長の歓迎の言葉に応じて「海洋生物学の研究を進めてきた同好の一人として貴重な資料を観察できることに心から感謝しています。」とあいさつされ、世界の海で採集されためずらしい生物の標本を熱心にご覧になっていました。このあと両陛下はサンフランシスコハワイと15日間にわたってアメリカご訪問の旅を無事終えられ、10月14日、日航特別機で羽田にご帰国。

「アメリカのすぐれた歴史的遺産を継承して活気にあふれている社会と雄大で美しい自然に接しえたことは大きな喜びでありました。今回の旅行を顧みて相互理解を通じて国際親善の実をあげることがいかに大切であるかを痛感しましたと。」陛下はあいさつされました。日米修好115年、戦後30年にして初めて実現した天皇ご訪米は、新たな日米両国の友好関係を築きあげたようです。